



あせらず落ち着いて学び 笑顔でつながり 頑張りがちに成長する 正しい判断力を持った勇気のある子どもの育成

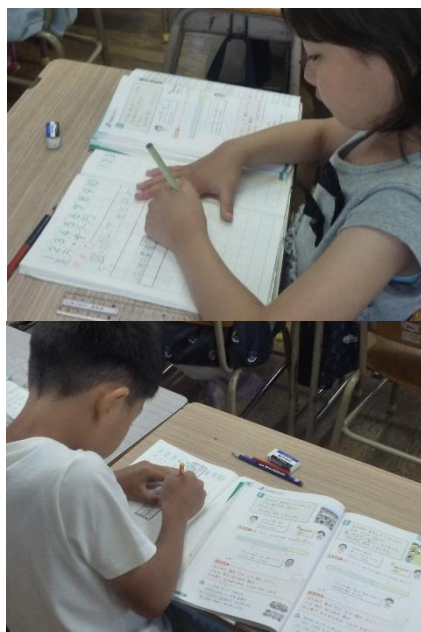
【今回の学校だよりは、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。】

2年生と1年生の頑張りに今後注目です。



2年生と1年生の算数の時間に訪問させていただきました。2年生の先生方も、1年生の先生方も、電子黒板で視覚的に課題となる問題を投影されていたり、マーカー機能を使われたり、数直線や線分図（2年生）や数図ブロックやミニフラッシュカード（1年生）を使われたりして、とってもわかりやすく丁寧に授業展開を工夫されていました。）

2年生では、数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応



じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力を育むために努力され、1年生では、ものの数に着目し、具体物や図など

を用いて数の数え方や計算の仕方を考える力を育むために努力されていましたが、2年生も1年生もそれぞれの児童の皆さんが一生けん命に考える姿は美しかったです。

p.s.私の知人で算数指導や数学指導でスペシャリストな教員Aがいっちゃって、次のようなことをおっしゃっていました。「低学年のうちは、指でも絵をかいたり図を描いたりして計算させて良いのです。低学年のうちは指を使うのは真剣に考えている姿の現れですから、否定すると勉強しなくなりますよ。」とおっしゃいました。

ついでに、私はそのスペシャリストのAの方にこんなことを聞きました。『「割合」の学習を教えるとき、割合 = 比べる量 ÷ 元になる量をよく「く⇒も⇒わり⇒」で教えるのがスタンダードになっていますが、僕は問題文に沿って立式する方が子ども達にとってわかりやすいと思うのですが・・・？』とお尋ねしますと。「左様。私も問題文に沿って立式させています。」と言われました。A先生のお子さんは東大に進学されたようです。なお、東大?に行ったから幸せとは限りません。人生いろいろです。

（割合は「比べる量」を「元になる量」で割ることで求められ、パーセントや小数、分数で表すことができることを学ぶ5年生の学習です。本日 $7-4=3$ をしている1年生が5年生になって%を出す学習が本人の努力と先生方とのかかわりでできるようになる・・・！その過程が楽しみな私でございます。(^_-) ☆

